

第13章 広報・広聴に関する業務

1 概要

公正取引委員会は、独占禁止法等に対する企業関係者の理解を深めて同法等の違反行為の未然防止を図るとともに、今後の競争政策の有効かつ適切な推進に資するため、広く国民に情報提供を行い、国民各層からの意見、要望の把握、小中学生を含めた幅広い国民各層の競争政策に対する理解の増進に努めているところである。広報・広聴業務の主なものは、次のとおりである（海外向け広報については第12章第7参照）。

2 記者会見

事務総長定例記者会見を毎週水曜日に開催している。

3 報道発表

公正取引委員会は、独占禁止法違反事件及び下請法違反事件に係る法的措置、企業結合に係る審査結果、独占禁止法を始めとする関係法令に係る各種ガイドライン、実態調査報告書等の内容について、幅広く報道発表を行っている。令和6年度においては、364件の報道発表を行った。

4 講師派遣

事業者団体等の要請に対応して、講演会、研修会等に職員を講師として派遣し、独占禁止法等について広報を行った。

5 各委員制度等及びその運用状況

(1) 独占禁止政策協力委員制度

競争政策への理解の促進と地域の経済社会の実状に即した政策運営に資するため、平成11年度から、独占禁止政策協力委員制度を設置し、公正取引委員会に対する独占禁止法等の運用や競争政策の運営等に係る意見・要望の聴取等を行っている。令和6年度においては、各地域の有識者149名に対して独占禁止政策協力委員を委嘱し、意見聴取等を147件実施した。

(2) 消費者アドバイザー

競争政策は、一般消費者に多様な選択肢を提供することを通じ、最終的には一般消費者の利益を確保することを目的とするものであることを踏まえ、平成30年5月以降、主要消費者団体等の推薦を得て、消費者アドバイザーを委嘱している。消費者アドバイザーからは、最近の消費者問題の動向や独占禁止法及び競争政策に関連すると思われる消費者問題に関する知見を聴取すること等によって、公正取引委員会の行政運営等にかすこととしている。令和6年度においては、11名の消費者アドバイザーから意見聴取を実施した。

(3) その他の制度

公正取引委員会は、独占禁止政策協力委員制度のほか、下請取引等改善協力委員制度、独占禁止法相談ネットワーク制度等を通じて、事業者等に対して当委員会の活動状況等について広報を行うとともに、意見・要望等を聴取し、施策の実施の参考としている。

6 各種懇談会等の実施

(1) 独占禁止懇話会

ア 概要

経済社会の変化に即応して競争政策を有効かつ適切に推進するため、公正取引委員会が広く各界の有識者と意見を交換し、併せて競争政策の一層の理解を求めることを目的として、昭和43年度以降、毎年開催している。

イ 開催状況

令和6年度においては、独占禁止懇話会を3回開催した。

(2) 経済団体及び消費者団体等との意見交換会

ア 概要

経済団体及び消費者団体等との意見交換会を通して、公正取引委員会の取組についてより一層の理解を求め、また、幅広く意見及び要望を把握して今後の競争政策の有効かつ適切な推進を図るとともに、これら団体と継続的な関係を構築することを目的として実施している。

イ 開催状況

令和6年度においては、経済団体（4団体）との意見交換会を5回実施したほか、消費者団体等（10団体）との意見交換会を1回実施した。そのほか、経済団体等に対し公正取引委員会の取組について説明を行った。

(3) 地方有識者との懇談会

ア 概要

地方有識者と公正取引委員会の委員等との懇談会を通して、競争政策についてより一層の理解を求めるとともに、幅広く意見及び要望を把握し、今後の競争政策の有効かつ適切な推進を図るため、昭和47年度以降、毎年、全国各地において開催している。

イ 開催状況

令和6年度においては、全国9都市（北海道函館市、盛岡市、群馬県高崎市、津市、京都市、鳥取市、高知市、鹿児島市及び那覇市）において、公正取引委員会の最近の活動状況等について、各地の主要経済団体、学識経験者、報道関係者等の有識者と当委員会の委員等との意見交換を行った。

このほか、地方事務所長等の事務総局の職員と有識者との懇談会（全国各地区）を98回開催した。

(4) 弁護士会等との懇談会

独占禁止法等に対する弁護士等の認知度を向上させるとともに、その相談・情報収集体制を強化することを目的として、平成23年度から本格的に行っている。

令和6年度においては、弁護士会との懇談会を18回開催した。

(5) 事業者の工場等への訪問及び懇談会

令和6年度においては、現場の事業者の声に耳を傾ける広聴という観点から、公正取引委員会の委員等が地方有識者との懇談会で地方に赴く機会を利用し、事業者の工場等を訪問し懇談する取組を19回行った。

7 一日公正取引委員会

(1) 概要

本局及び地方事務所等の所在地以外の都市における独占禁止法等の普及啓発活動や相談対応の一層の充実を図るため、独占禁止法講演会、下請法基礎講習会、フリーランス・事業者間取引適正化等法説明会、入札談合等関与行為防止法研修会、消費者セミナー、独占禁止法教室、報道機関との懇談会、相談コーナー等を、開催地のニーズを踏まえるなどしてプログラムを組み、1か所の会場で開催している。

(2) 開催状況

令和6年度においては、北海道函館市、盛岡市、群馬県高崎市、津市、京都市、松江市、徳島市及び鹿児島市において、合計8回の一日公正取引委員会を開催した。

8 消費者セミナー

一般消費者に独占禁止法の内容や公正取引委員会の活動について、より一層の理解を深めてもらうため、対話型・参加型のイベントとして開催している。

令和6年度においては、合計88回開催した。

9 独占禁止法教室（出前授業）

中学校等の授業に職員を講師として派遣し、市場経済の基本的な考え方における競争の必要性等について授業を行っている。また、大学（大学院等を含む。）における独占禁止法等の講義等に職員を講師として派遣し、競争法の目的、公正取引委員会の最近の活動状況等について講義を行っている。

令和6年度においては、中学生向けに合計50回、高校生向けに合計46回、大学生等向けに合計143回開催した。

10 庁舎訪問学習

中学校等からの依頼を受けて、公正取引委員会の庁舎において、市場経済の基本的な考え方における競争の必要性についての説明や当委員会委員との懇談を行うとともに、委員会会議室などの職場見学に対応した。

11 広報資料の作成・配布

(1) パンフレット

独占禁止法等や公正取引委員会に対する一般の理解を深めるため、「知ってなっとく独占禁止法」、「知って守って下請法」等を作成し、事業者、一般消費者等に広く配布しているほか、中学生向け副教材として「わたしたちの暮らしと市場経済」を作成し、中学校等に配布している。

また、競争の大切さや独占禁止法の内容を楽しく学んでもらえるよう「うんこドリル」と連携して「日本一楽しい競争のルールドリル」を作成し、独占禁止法教室等で配布している。

(2) 広報用動画

独占禁止法及び下請法の概要を紹介する動画を作成し、事業者団体、消費者団体等に対してDVDの貸出しを行っている。

また、これらの動画を公正取引委員会のウェブサイト上及び当委員会 YouTube 公式チャンネルに掲載し、配信している。

YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/c/JFTCchannel>



(3) ウェブサイト及びソーシャルメディアによる情報発信

公正取引委員会の活動状況を適切なタイミングで国民の幅広い層に対し積極的に発信することを目的として、ウェブサイトにおいて報道発表資料を含む各種の情報を掲載しているほか、平成26年6月からX（旧 Twitter）及び Facebook の運用を開始し、報道発表等の当委員会に関連する様々な情報を発信している。

さらに、平成27年5月から YouTube の運用を開始し、独占禁止法、下請法及びフリーランス・事業者間取引適正化等法の概要を紹介する動画を配信している。

また、令和6年度においては、小学生、中学生及び高校生など、将来の経済活動の担い手となる若者も含め、一般の消費者に公正取引委員会に親しみを持ってもらい、当委員会のイメージ向上を図ることを目的として、当委員会公式マスコットキャラクターである「どっきん」のペーパークラフトを作成し、ウェブサイトのキッズコーナーに掲載した。